

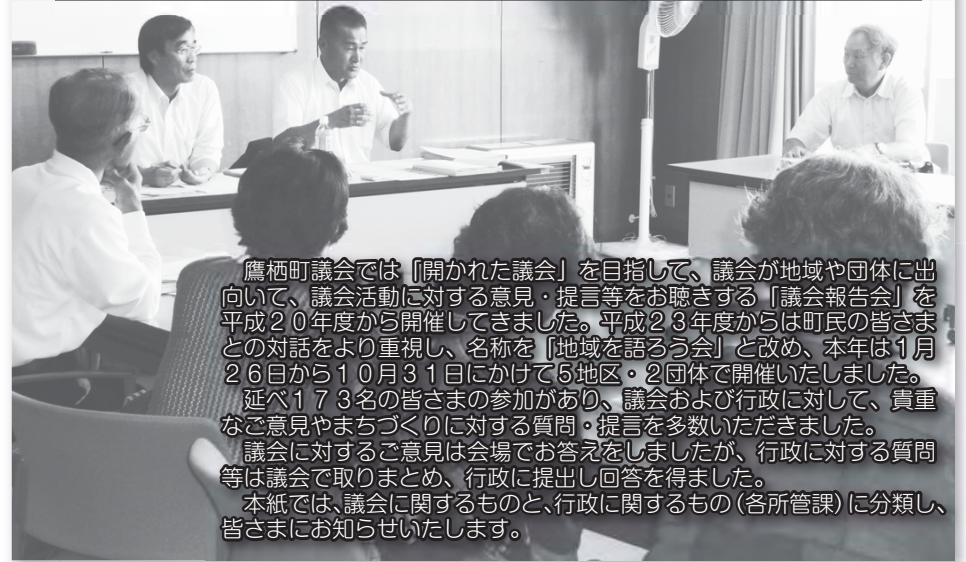
地域を語る会報告紙



開かれた議会を目指し

平成24年1月26日・8月8日・
10月24日・27日・29日・30日・31日開催

第5回 地域を語る会開催



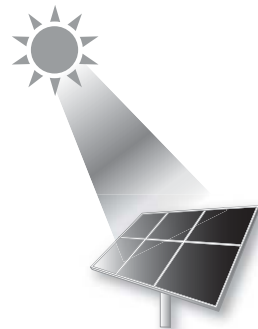
鷹栖町議会では「開かれた議会」を目指して、議会が地域や団体に向いて、議会活動に対する意見・提言等をお聴きする「議会報告会」を平成20年度から開催してきました。平成23年度からは町民の皆さまとの対話をより重視し、名称を「地域を語る会」と改め、本年は1月26日から10月31日にかけて5地区・2団体で開催いたしました。延べ173名の皆さまの参加があり、議会および行政に対して、貴重なご意見やまちづくりに対する質問・提言を多数いただきました。議会に対するご意見は会場でお答えをしましたが、行政に対する質問等は議会を取りまとめ、行政に提出し回答を得ました。本紙では、議会に関するものと、行政に関するもの(各所管課)に分類し、皆さまにお知らせいたします。

議会全般について

●地域を語る会への参加者が少ない。町民に何を求めて開催しているのか。
 ー議会活動や政策の説明及び町民の意見や地域の課題を広く広報広聴する場として開催しています。

●議会の傍聴者が少ない。休日や夜間議会の開催を考えるとどうか。小中学生や高校生にも広く傍聴の体験があればよいのでは。
 ー休日・夜間議会の開催や小中学生や高校生を対象にした議会も計画します。

●新エネルギービジョンの考え方は、具体的な内容を調べて行政に質問すべきでは。
 ー太陽光発電や自然エネルギー等も調査して取り組みます。



●議員倫理条例を制定する考えは。
 ー制定している議会もあるが、議員個人の問題であり、制定は考えていません。

●議員定数と報酬は現状の12名が地域の声もくみ上げられるので良いと思う。議会ではどのような話をしてほしいのか。
 ー議員定数は現在の12名が適正と考えています。報酬については現状で良いと判断しています。

●北海道新聞に、「議員が割に合わない仕事との認識が広まっているのでは」と報道されたがどうなのか。
 ーそのような認識もありませんし、発言も確認できません。

●節電について、家庭への呼びかけや、公共施設等のLED化に対する考えは。
 ー役場庁舎では一部LEDに交換していますが、冬場の節電が心配されることをごさ。

●TPP(環太平洋連携協定)に対する議会の対応は。
 ー平成22・23年度、国に対しTPP交渉参加に反対の意見書を提出しています。

総務企画課

●積立基金(14〜20億円)の活用を考えるとどうか。
 ー基金には、財政状況の変化に対応するための基金と、目的別に積み立てている基金があります。今後も住民サービスの低下を招かないよう計画的に運用していきます。

●太陽光発電に対する助成は考えていないのか。
 ー太陽光発電システムの設置に対する補助制度について検討していきます。
 ●クリーンエネルギーの対策として、風力発電を検討してはどうか。
 ー鷹栖町では、風力発電の導入は難しいと考えています。

●北成郵便局の利用状況は。町の予算措置はどうかあるのか。
 ー平成23年度の利用数は貯金・郵便業務等で延べ949人です。
 平成23年度の決算状況は、運営経費が約350万円で事務委託料などで約430万円の収入がありました。

●鷹栖町の災害対策はどこまで進んでいるのか。避難訓練の計画はどのようになっているのか。
 ー鷹栖町では、避難訓練の計画はどのようになっているのか。

ー「鷹栖町地域防災計画」を策定しており、各地域の避難場所の設定や訓練を実施しています。

●町の活性化につながるような考えを持っているのか。
 ー基幹産業である農業を中心に商工業など連携を図りながら、魅力ある産業の育成や、子供からお年寄りまで安心して暮らせる環境づくりが町の活性化につながると思っています。

●旧北斗小学校に明かりがつき、これをきっかけに地域が活気づくように願っています。
 ー鷹栖共生会と町民の方々と連携を図りながら、北斗地区の活性化に寄与していただけたらと思います。

●警察団地の跡地に地域住民が集まれる場所を作りたい。
 ー近くに地区住民センターがあるので活用していただきます。

●行政サービスの低下になるのを合併してほしくないが、合併についての議論はあるのか。
 ー自立の道を選択したので、現在合併に関する議論はしていません。

●パレットヒルズの開発をどうするのか。トイレ、電気など

の整備をして、パークゴルフ場だけでなく町民の健康増進を図れる公園や観光拠点として開発しては。
 ー「町民手づくりによる憩いの杜」として整備を進めてきました。現在、パークゴルフ場を含めたパレットヒルズ全体の整備構想を検討しており、平成25年度に方向性を決定していきます。

町民税務課

●近年、カラムシが大発生している。駆除や防除について検討できないか。
 ー発生個所が中山間地域に集中していることもあり、産業振興課とも協議して対応策を検討します。

●町営バスの運行時間帯を考えて欲しい。
 ー地元の要望を確認して検討します。

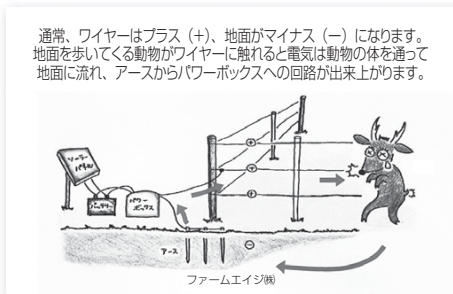
●企業の騒音により住民の体調不良があるようですが、改善策はないものか。
 ー地域、事業者、町との三者協定に基づき、事業者を監視していきます。



防災訓練の様子



パレットヒルズの桜



電気柵のしくみ



原料トマトの栽培



- 通常、ワイヤーはプラス (+)、地面がマイナス (-) になります。地面を歩いてくる動物がワイヤーに触れると電気は動物の体を通って地面に流れ、アースからパワーボックスへの回路が出来上がります。
- 鳥獣被害について、新たな被害防止策はないのか。
 - 平成24度、電子音と高周波音による侵入防止器具のテストを行いました。今後も新たな対策を探していきます。

- 農業への新規参入に対して、農協などに詳しい担当者が必要では。
 - 就農者の相談があった場合、新規就農者確保対策事業審査会で情報を共有して対応していきます。
- 原料トマトの栽培に取り組んでいる団体に支援してほしい。
 - 原料トマト生産者対象の補助事業等、このような支援ができるのか検討します。

産業振興課

なかったが、行政にはその旨の要請はありませんでした。

- 「オオカミの桃」の生産が減っている。原料価格を上げたり、直営農場も含めた増産計画を検討してほしい。
 - 増産対策として、接木苗・堆肥・ハウス等の助成事業を行っています。今後も施設園芸を含めた生産振興を構築し、関係機関と一体で検討していきます。
- 農業者の高齢化対策や後継者対策を検討してほしい。
 - 一人・農地プランを基に、国や町の事業を連携させて対応を検討していきます。

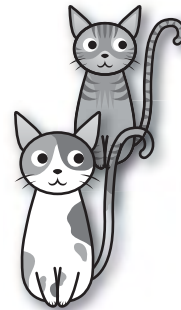
- キツネが生ごみをあさり苦慮している。
 - 産業振興課で箱わなの貸出しを行う予定です。
- アライグマが増えてるので駆除してほしい。
 - 今までに23頭のアライグマを捕獲しています。今後も箱わなによる駆除を行っていきます。
- 春先には地元で「オオカミの桃」が買えないのでどうにかしてほしい。
 - 農業振興公社の販売計画に関わることで、公社に伝えておきます。

農業委員会

- 市街地の道路花壇は役場が管理してほしい。
 - 町内会の環境美化という観点から、皆さまのご協力・ご理解をお願いします。
- 農業後継者のパートナー探しに力を入れてほしい。
 - 町と団体等が行っている「出会いの場づくりの事業」や農業委員会を取り組んでいる「パートナー事業」があり、新たな取り組みも模索しています。

建設水道課

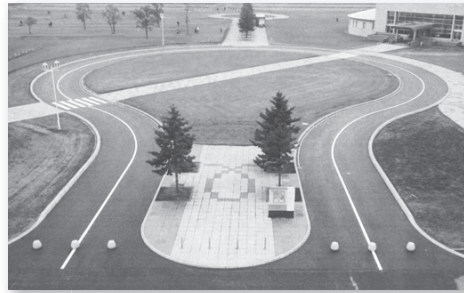
福祉課



- 高齢者住宅は、援助員がいて安心ですが、在宅の老人は目配りが少なく不安である。
 - 高齢者事業団に加入して、健康づくり・生活の充実を図っていただきたい。
- 高齢者を雇用する政策を検討してほしい。
 - 健康を維持する活動を推進しています。自分の健康を充分意識し、地域で暮らすためのお互いに助け合う体制など皆さんが話し合ってください。
- 高齢化社会になり、農村部の地域では生活が難しくなるので、今後どのようにしていけば地域に住むことができるのか。
 - 健康を維持する活動を推進しています。自分の健康を充分意識し、地域で暮らすためのお互いに助け合う体制など皆さんが話し合ってください。
- 介護施設は、今後増設していく方向なのか。
 - 一人口規模・高齢化率を考慮して介護施設の増設は当面考えていません。
- 交通費助成事業補助券は、必要としている人に有効活用してほしい。
 - 制度として公平でなければならぬため、行政支援の方法を見直す検討を進めています。
- 福祉の「ふじなび」・「メロディーホール」の開館時刻を早めてほしい。
 - 早目に開館できるように、実行委員会と検討していきます。
- 申請などではびねずに何回か行ったが担当者が不在だった。改善策はないのか。
 - 担当者が不在の場合、後で連絡を取って訪問するなどの検討をしています。
- ポランテア活動で園児との交流を行っているが、参加者が少なくなり今後の運営が心配である。
 - 交流の楽しさや満足感などを、もっと広くアピールし仲間を増やすよう努めていきたい。子供達も楽しみにしているのご協力をお願いします。
- 子供の医療費や妊婦の診察料の無料化、3子以上の家庭に補助していく対策を考へては。
 - 未来を担う子どもたちへの、皆さんの声を聴きながら取り組んでいきたい。妊婦の検診は種類によっては全額助成しています。
- 東日本大震災で身内が亡くなった子供たちを預かる人が少なくなっている。
 - 現在の小作料について、どのように考えているのか。
 - 貸し手・借り手ともに納得できる算定方法を模索中です。
- 町外の人が無作為に農地を買っているのをどうにかできないか。
 - 農地法上、適正であれば許可できるを得ません。土地の所有者、経営者とともに農地を守っていくように説明をしています。



市街地の排雪作業



メロディーホールの円形サークル



●12線のヨシカシユッペ川の天端の草刈がしつらい状況である。また、護岸ブロックもはがれている。
―天端の整備を行いました。護岸ブロックについては、河川管理者の北海道に改善要望を行っていきます。

●知遠別付近上流が昨年の大水で護岸ブロックが部分的にまがれている。
―確認したところ、蛇行しており土砂の堆積もあるところから複数年で改善していきます。

●湧水が道路に流れ凍って転倒する状況です。また、路肩も崩れているが巡回ほどのようになっている。
―湧水処理は雨水枿を増設して対策します。路肩は土盛りして法面を緩めることで対応しました。また、定期的に巡回しています。

●市街地の除雪は、小学生の通学時間に配慮しては。
―大雪が降った場合など、目標時間までに終了しない場合もありますが、ご理解をお願いします。

●道々の縁石まわりの草が伸びている。何か対策をお願いしたい。
―撤去して有効活用します。

●鷹栖地区住民センターは老朽化しているので図書館と合わせた活用を考えてほしい。
―図書館も含めた施設整備の計画を地域の皆さまと協議をしていきます。

●使われていないスクールバスの待合所を、有効活用してほしい。
―撤去して有効活用します。

●小中学校でのいじめ問題や不登校の現状は。
―いじめの報告があれば、その都度対処しています。不登校は中学校で数件あり、家庭と連携して対応しています。

●老人大学・大学院の運営体制や学級編成の見直しとともに、名称を変更してほしい。
―在籍している方の意見を尊重して、変更していきたいと考えています。名称については町民に募集しました。

●ブックスタートの日が老人大学の曜日と重なって参加できない。
―対象者の利便性を考慮して水曜日となっていますが、老人大学の美施日の変更を含めて検討します。

―道路管理者へ伝えます。

●家を新築したが将来のライフラインについて心配をしている。
―地元の要望を確認してライフラインの確保に努めます。

●15線10号と知遠別線の砂利道について整備してほしい。
―雪解け後、再度確認し整備します。

●14線・15線11号間の除雪回数を増やしてほしい。
―この区間だけ回数を増やすのは大変難しく、吹き溜まり等がある場合は、役場に連絡をお願いします。

●大雨時に河川が増水し通行止めになる箇所（23線道路）を改善してほしい。
―河川管理者である北海道へ継続的に要望を行っていきます。

●市街地の雪が堆積して道路幅が狭い。
―除雪後の歩道が滑って転倒する人がいる。
―空地も少なく道路に堆積している

●老人大学院を卒業後、旭川の青年大学に入っている人もいる。鷹栖でも必要と考えるが。
―老人大学院は2年で卒業となっていますが、在学期間を変更したいと考えています。

●地区住民センターの使用が有料となった経緯は。
―法改正により誰もが自由に使える施設として有料となっています。

●メロディーホールから駐車場まで距離があり不便である。
―円形サークルの利用の仕方は、主催団体が決めることなので、相談し利用していただく。

●高齢化が進み、鷹栖地区住民センターの利用に不便を感じている。エレベーター・洋式トイレを設置してほしい。
―鷹栖地区住民センターについては、計画的に施設整備をしていきます。

●緑地公園、多目的広場で犬の散歩や糞尿をさせている。
「ペットの散歩は遠慮してください」などの看板を増やしてほしい。
―看板を増やすとともに、内容についても変更を検討します。

状況なので排雪の回数を増やして対応します。歩道全体の問題であるので注意して歩いてください。

●中学校から道路に出るまで暗いので防犯上どうにかできないか。
―現地確認し対応していきます。

●4号道路の消灯している街路灯を点灯するように道に要請してほしい。
―要請し点灯しました。

●節電が叫ばれているので街灯を減灯しては？
―各町内会が防犯上の意味から設置しているため難しい。

●北野公園で明るくなくても点灯している電灯がある。
―現地確認し対応します。

教育課

●給食の献立表などに産地や放射能濃度の情報開示してほしい。
―指定17都県の材料を使用した場合は公表します。放射能濃度を定期的に測定するよう検討していきます。

消防支署

●消防団員が少なくなっているが、増員の対策を考えているのか。
―鷹栖消防団は定数減の状態です。定数確保に向けて地区消防団、後援会と協力し随時補充の対応をしています。

農業振興公社

●内部留保金の使途はどのように考えているのか。操業期間以外での施設の有効利用を検討すべきでは。
―内部留保金は、設備の維持と再投資及び振興事業等への準備金です。有効利用については今後も検討を進めていきます。



地域を語ろう会に出席して感じたこと、また、議会に対しての意見・提言等

今回初めて出席しました。地域のことで今まで知らなかった。分からなかったことが分かってよかったです。今後も出席できるよう努力したいと思います。

みんなが意見を言える雰囲気よかったです。

『議会の概要』は参考になる。『一般質問その後を追跡』は色が多すぎて見づらい。

昨年の地域を語ろう会の後、早速現地を見て対応してくれました。

ガソリンスタンドが町内には2箇所しかなく、これ以上減らさないでほしい。

開催は嬉しいけれどももっと個別に（例えばサークル毎など）小さい規模で開催してもらえると意見など言いやすい。

地域の事は一番地域の住民がわかっている。「語ろう会」の取組はとても良い事だと思います。

参加するまでは緊張していましたが、多少なりとも意見を言えてよかったです。

議会から住民に聞きたいことはないのか。

議会だよりや追跡レポートの文字を大きくしてほしい。

若い人がいない。女性が少ない。もっと女性が参加しやすい雰囲気。当番議員は前にいるのはいいが、そうでない議員は後ろにいて顔も見れない。せっかく忙しい中来てくださっているのだから、見えるところに座してほしい。こんな時に顔を覚えるチャンスだと思います。

若い町長なので、皆さんで協力して住みよい町、活気のある町。公務員ではだめ。大いに町民の意見を取り入れてほしい。

来年出席するとしたら、どのようなことを希望されるか。

議員が見える（町民が要望を伝える最前線）、町民も鷹栖のまちづくりに参加する意欲の向上への手立てを希望します。

地域に密着した話題、福祉について

町民（特に鷹栖地区）がもっとこの会に参加する手立ての一層の工夫が必要です。テーマを3〜4つ決めて案内周知し、実施する。その他にフリーを入れるとよい。

もっと時間を長くにとって、休憩やレクをはさむとよい。

地域としてのテーマをある程度絞ること。地域選出の議員さんと連携をとって。

土日の開催を試してみてもいい！

大きなテーマ、小さなテーマに分けて話してはどうか。小グループでの話し合いを取り入れてはどうか。

今年と同時期がよい。

夜は出づらいので昼間にしてほしい。

様々な世代が参加してくるようにもっと仕切りを下げた参加しやすい雰囲気を作っては。

住民のささやかな意見を聞いていただくことで細部を知ることが出来るのでは。

今日皆さんより出た意見がどのくらいよくなっているか。地元としては身近に意見を言えることがうれしく思う。

フリートークでよいと思う。

高齢化にともない、老人会に向けての町からの力をかしてほしい。



御礼のご挨拶

鷹栖町議会の議会改革・議会活性化の一環として、町民と語り合う機会とするべく「地域を語ろう会」を開催したところ、町民の皆様にはご多忙にもかかわらず、多数のご参加を賜り心よりお礼申し上げます。

皆さまより貴重なご意見・ご提言・地域の現状と課題をお聞かせ頂き誠にありがとうございました。

さらには、当日各会場で実施したアンケートにおいても、議

会および行政に対して貴重なご意見・ご提言を多数いただき、皆さまのご協力で深く感謝いたします。将来のまちづくりに向けて役立ててまいります。

今回の開催でも、議会の議論をはじめ施策に対する広聴・広報活動の重要性と必要性を改めて痛感いたしました。

今後も、議会の機能向上・情報公開をはじめ、より開かれた信頼される議会を目指して、議会改革と活性化に取り組んでまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。お礼のご挨拶といたします。

鷹栖町議会議長 青野 敏

会場・団体名	開催日	出席者数
トマト部会	1/26 ㊦	16名
老人大学・大学院	8/ 8 ㊦	80名
鷹栖地区住民センター	10/24 ㊦	5名
北野地区住民センター	10/27 ㊦	21名
中央地区住民センター	10/29 ㊦	19名
北成地区住民センター	10/30 ㊦	17名
北斗地区住民センター	10/31 ㊦	15名
合計		173名